

# 市民フェスタ秋

～健康まつり・環境フェスティバル～

本年も健康まつりと環境フェスティバルを「市民フェスタ秋」として同時開催で行います。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

【とき】 10月29日（日） 午前10時～午後3時

【ところ】 ウェルサンピア伊賀 屋内テニスコート

## 健康まつり

健康に関する展示や相談など盛りだくさんの内容です。

11月の健康推進月間を前に、あなたの健康について考えてみませんか。

### 【主な催し】

- 健康相談、歯科相談、健康測定
- 義歯洗浄、幼児フッ素洗口
- ストレスチェック、禁煙指導
- 試食コーナー（のっぺい汁）
- 食に関する展示、足湯体験
- 肺がん・結核検診（午後1時30分～2時30分）

【問い合わせ】 本庁健康推進室 ☎22-9653

## 環境フェスティバル

イベントを通じて、環境問題について認識を深め、環境負荷の低減に取り組もう！！

### 【主な催し】

- 夏休み子ども環境保全啓発作品の展示と表彰
- 各企業の環境への取り組み紹介
- リサイクル工作教室（木のペンダントづくり）
- 水の生物を観察しよう！
- 伊賀市指定ごみ袋の展示と説明

### 【周辺行事】

- 秋のきのこをさがしにいこう！！  
（午前11時出発）

【問い合わせ】 本庁環境政策課 ☎22-9637



誰でもみんな幸せになりたいと願っています

「誰でもみんな幸せになりたいと願っています」  
これは、伊賀市が発行した人権啓発リーフレットの題名です。当たり前のように誰もが望んでいることです。そして誰もがそう感じることができる社会をつくっていかねばいけません。このことは人まかせでは達成することができません。一人ひとりが「みんなの幸せ」達成に向けて努力していく必要があります。

近年、インターネット上で個人や団体、地区に対しての誹謗中傷や差別的な書き込みが多く存在しています。また、伊賀市でも「差別落書き」や差別文書などが数多く発生しています。

このような行為は、決して許されるものではありません。しかし、少し視点を変えて考えてみてください。

差別落書きなどをする背景には、このようなことをした人の心のどこかに寂しい部分があるのではないのでしょうか。

人は誰でも生まれながらにして誰かを傷つけないと思ったり、誰かを排除したいと考えている人はいません。これまで生きてきたどこかで自分自身の心が傷つき、相手を傷つけることを覚

## 明日に向かって

～差別をなくしていくために～

「誰でもみんな幸せになりたいと願っています」  
えてしまったとも考えられるのではないのでしょうか。

常に相手の気持ちになって考えてみる。これこそが人権を考える第歩ではないでしょうか。

私は、以前住民課窓口で勤務していたことがあります。そのとき常に心がけていたことは、「市民の方の中には、悩みを抱えながら窓口にお越しいただく方もいますが、お帰りになるときは笑顔で帰っていただく」ということです。

「相手の立場にたったとき・・・」少しの時間でいいのです。

この少しの時間が相手とのコミュニケーションを良くし、また自分自身を一歩ずつ成長させていくのではないのでしょうか。

誰にでも権利があります。しかし権利を主張することは自身自身の責任を果たした上でのことだと考えます。自分自身が幸せになりたいと考えるのであれば、自分自身以外の人を幸せにできる心を持つ「自分」にならなければならないのです。

そのためには、常に毎日が勉強であり、常に毎日が実践だと考えています。